

# 北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット2019年4月18日 第107号  
TEL592-5000 fax 571-4346  
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F  
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

## 第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 安倍改憲にとどめを、野党共闘で参議院選挙で勝利しよう

9条の会・北九州憲法ネット

代表世話人座長 荒牧 啓一

平成が終わり、間もなく「令和」になるようです。個人的には、これを機会に西暦のみにしたいと考えています。令和の発表で、安倍政権の支持率が上がっています。よく理解できません。しかし、塚田（国土交通）副大臣と桜田（東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当）大臣の失言・暴言で疑惑・隠蔽・改ざん・不正の安倍内閣のゆるみがまたまた露呈しました。徹底追及を期待します。

平成天皇は、靖国神社に行かないまま平成は終わります。「慰霊の旅」が戦没者慰霊の中心になりました。靖国や慰霊の旅、「おことば」には、天皇の戦争は二度と繰り返さないという平和への思いが読み取れ、国民も共感し、天皇へ緩やかな共感を寄せているようです。

しかし、渡辺治（政治学・憲法学者・9条の会事務局）氏は、安倍政権の6年間に顕著

4月12日、改憲問題対策法律家6団体連絡会は、「**憲法審査会の開催に断固反対する法律家団体の緊急声明**」を出しました。自民党と公明党とは、「日本国憲法の改正手続きに関する法律」（いわゆる**国民投票法の改正案**です。）の審議を口実に憲法審査会の開催を画策しています。

与党が提出している「公選法並び」の改憲手続法（国民投票法）改正案は、2007年5月の同法成立時や2014年6月の同法改正時の付帯決議で挙げられた問題点などの検



になったように、政治が改憲や軍事化の方向に突き進もうとしているときに、天皇が「歯止め」として期待され、天皇の政治的行為の拡大容認を生み、それが天皇の政治的発言を助長している。安倍政権の政治を変えたいのなら、国民が選挙を通じて変えるべきで、天皇のおことばや訪問で代行したり、その権威に頼ってはいけなと指摘しています。

討を完全に怠ったもので、抜本的な見直しが必要不可欠な改正案です。仮に、憲法審査会の開催に応じた場合、付帯決議で挙げられた問題点や野党が求める問題点と与党が真摯に受け止めて議論するという保障は全くありません。欠陥法である与党提出の改正案を強行採決して、与党がその後具体的な改憲案の議論に突き進む、そして発議を行う危険性が十分認められます。憲法審査会の開催を阻止する必要があります。

安倍政権を打倒し、憲法改悪を根本から阻止するチャンスは、今年の参議院選挙です。参議院議員の総数は242議席です。現在、3分の2の議席である162議席を超える12、選挙区+1=埼玉)になります。そうすると総数245議席の2/3は164議席です。改憲派の当選87議席で2/3です。従って、改憲派(自・公・維新・希望等)がこれ未滿なら安倍改憲の発議は不可能になります。

64議席を改憲派が占めています。改憲派164議席のうち非改選は77議席、改選は87議席です(19年4月12日現在)。今回の選挙後に「特定枠」等で3議席増(比例+「市民と野党の共闘」で安倍改憲に「とどめ」を刺しましょう。2007年7月の参院選(改憲手続法強行後)、自民党は惨敗し、安倍は退陣しました。あのたたかいをもういちど!

## 14名で28筆 小倉南区曾根地区でローラー署名

9条の会・北九州憲法ネット  
事務局長 野瀬 秀洋

安部9条改憲NO! 3000万署名をすすめる小倉地区の会が呼びかけた「曾根地区ローラー署名」行動は、3月16日(土)に、曾根市民センターの会議室に、曾根9条の会、沼地区の会、健和会、同。労組、年金者組合小倉支部と、事務局、計14人が参加して開始されました(写真)。署名は28筆回収されました。

6班に分かれて、1時間の署名行動をして、28筆の署名が集約されました。

(参加した方からの意見)

\*署名してくれたが、署名の用紙の出し方に、注意された。「何も書かれていない用紙を出して、署名の依頼をすべきだ。すでに署名した方の名前が書かれた署名用紙を出すことは、個人情報

の上で問題がある」

- 50年ぶりに戸別訪問した。心が洗われた気がした
- 「今の安倍政権大嫌い!何とかならないか?」という意見の方が2軒あり、うれしかった。
- 署名用紙を渡し、後日回収すると約束した家が4軒あった。
- 快く対応してくれる方が多く、助かりました。



2019年3月16日小倉南区曾根ローラー作戦。  
出発前の打ち合わせ

## 憲法随想

## 「明治150年」と安倍改憲

9条の会・北九州憲法ネット  
代表世話人 三輪 俊和

### 1「明治150年」キャンペーン

戦争する国づくりと改憲に暴走する安倍政権の下で、「明治150年」キャンペーンが繰り

広げられています。この「明治150年」に関連したイベントや企画が全国的に展開され

るきっかけは、2016年10月、安倍政権が「明治150年」関連施策の推進を決め、内閣官房に「明治150年」関連施策の推進室を設置したことにあります。以来、膨大な施策・事業の推進が、国レベルだけでなく、民間団体を巻き込んで全国の自治体で競うよう

に展開されてきました。「明治150年」キャンペーンの趣旨は、「明治150年」をきっかけに、明治以降の歩みを次世代に残すこと、明治の精神に学び、日本の強みを再認識することにあるとされています。

## 2 「明治150年」と安倍改憲

安倍首相は、昨年年初記者会見で「今年は、明治維新から150年の節目の年であり、150年前、明治日本の新たな国づくりは、植民地支配の波がアジアに押し寄せる大きな危機感と共にスタートしました」とし、当時の危機感と「国難」を強調し、「これを克服するために近代化を推し進めた日本人の志と熱意を思い起こせ」と述べました。安倍政権が推進する「明治150年」キャンペーンの特徴は、明治という時代を一面的に美化している

ことです。明治時代を特徴づける侵略戦争もアジアの植民地化もありません。明治の一面的な美化によって、ナショナリズムをあおり、国威発揚に役立てようとしていることは明らかです。11月3日「文化の日」を「明治の日」に改める運動も展開されています。日本国憲法発布の日を消去して、明治天皇の誕生を記念する日に変えようというのです。「明治150年」キャンペーンは安倍改憲に直結しています。

## 3 「明治150年」と歴史認識

私たちが「明治150年」から学ぶべきものは、心地よい明治の物語ではなく、富国強兵と戦争・植民地化、国民の窮乏化という過去の現実を見据え、そこから克服すべき歴史的な課題を学び取ることです。朝鮮半島では、韓国のキャンドル革命に示されて新しい市民

運動が北朝鮮の政策転換を引き出し、史上初の米朝会談を実現させ、核戦争の危機が対話によって打開されました。民族分断という日本帝国主義が残したマイナスの遺産を克服する大きな動きが始まっています。

## 4 アジアの平和体制確立へ

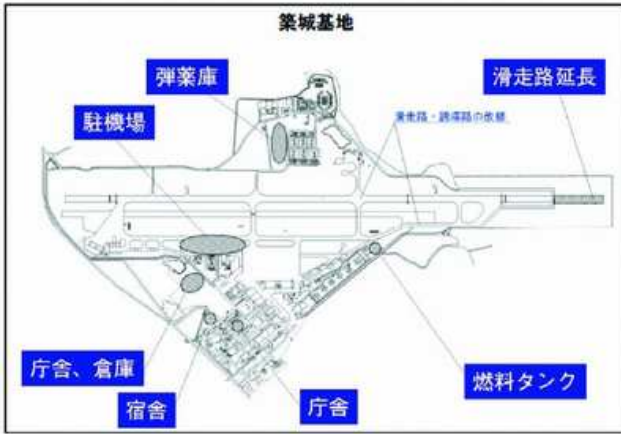
安倍政権が「北朝鮮の脅威」を最大の口実にすすめてきた「戦争する国づくり」は、北東アジアの平和体制確立の途と真逆です。アメリカの北朝鮮に対する先制攻撃に加担して、日本が米軍とともに朝鮮半島に攻め込むことを可能にすることが、安倍改憲の最大の目的でした。このような朝鮮半島危機を軍事的に解決する途は、北東アジアにおける軍事的対立を強化するものです。それだけに、安倍改憲を阻み、日本が朝鮮半島の話し合いによる平和の方向に加わることは、日本国民でなければならない国際的責務になっています。安

倍改憲を阻み、安倍政権を倒し、野党連合政権をつくることで、憲法が生きる日本へ変わっていく第一歩を踏み出すことができます。野党連合政権の下で、第一に、朝鮮半島の非核化から北東アジアの非核化への課題に取り組むことができます。第二に、日本が率先して核兵器禁止条約を批准し、北東アジア全体の非核化に進むイニシアティブをとることで。第三に、侵略戦争と植民地支配への明確な謝罪によって、北東アジアの中国や韓国との連携をつくっていく大きな一歩を踏み出すこととなります。

# 築城基地が 米軍基地に変容か

日米両政府は合同委員会で、沖縄の基地負担軽減策の一つとして、築城基地に緊急時米

軍機を受け入れること、弾薬庫などの施設を整備することで合意した。合意は沖縄普天間



基地の「能力の代替」として、駐機場、弾薬庫、燃料タンク、庁舎、倉庫などを建設し、「緊急時」に戦闘機 12 機程度、米兵約 200 人の受け入れを想定したものです。

築城基地は昭和 17 年建設、大日本帝国海軍航空隊となり、昭和 20 年には神風特別攻撃隊菊水銀河隊出撃、同年 8 月米軍の攻撃を受け、終戦後に米軍が撤収。その後、自衛隊が使用しています。隊員は 1500 人、滑走路は東西に 2400M。主要装備は F2 戦闘機、パトリオット地对空誘導弾などです。2010

年の防衛大綱で基地機能の維持整備の名のもとに燃料タンクの容量強化、変電設備の高度化などの基地強化が進められてきた。

今回の普天間米軍基地の能力代替は、すでに 10 年も前から進められてきたもので、地元には何の相談もなく秘密裡に進められていました。代替と言いながら、普天間にはない弾薬庫をつくる理由については防衛相は「詳細は控える」と明らかにしません。また、滑走路を 300M 延長する整備計画は宿舎の整備と合わせて米軍の常駐化を狙っているものです。もっとも危険な普天間基地の負担の軽減を口実に、あらたな異質な負担を日本国民に求めるものです。最近の F2 戦闘機 1 機の墜落の原因究明も進んでない中での訓練の再開。辺野古新基地建設が県民の圧倒的反対の民意を無視し進められている事と同じことが日本全国で進んでいます。辺野古新基地反対と合わせ、築城基地の実態を知らせ、9条改憲反対、「戦争する国」へ邁進する安倍政治を終わらせましょう。事務局 川副通夫 (折尾の会ニュース2019年3月No.163から)

# カンパありがとうございます。そして、お願い！

当会は、一貫して、憲法及び9条を学び、守り発展させるため、学習会や講演会、署名活動、街頭宣伝などの諸活動を行ってきました。ニュースの発行は、90号になりました。毎回700人の方にニュースをお送りしたり、手渡ししたりしています。その費用は、当会は会費がないのですべてカンパで賄っています。安倍政権の憲法破壊、立憲主義無視の暴走を阻止する戦いは山場です。しかし、当会の活動資金が枯渇しています。皆さんのお力で当会の活動を支えてください。

**振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」**

**カンパ 2月** 中川紘子 村上憲子 河村智重子 田口政子 **3月** 小倉東総合法律事務所荒牧啓一 末安良光 小沢和秋 安藤昭雄 北九州保険企画堀信二 野田恵美 勝木多美 野瀬秀洋 小泉孝 川辺希和子 棚次奎介 上西創造 宮中敏子 三輪俊和 三輪幸子 玉井史太郎 江藤恭子 嶋國勝 川原巖誠 **4月** 高野和夫 三浦日佐代

**メッセージ** ●会のニュースありがとうございます。わずかですが、カンパ送ります。よろしく願います。2/26 M. T

●9条改憲阻止及び統一地方選頑張ります。わずかですが！ 3/7 Y. S ●今回は少し間が長かったので、奮発したつもりです。よろしく 3/8 K. O ●荒牧先生のわかり易い文章や、地域、全国の記事でとても参考になります。皆さんと連帯しているという元気が出ます。ありがとうございます。3/15 K. K ●ご苦労様です。感謝してます！ 3/17 S. U ●憲法を活かそう！ 3/18 K. T ●「安倍政治は許さない」がんばりましょう 3/22 F. T ●戦争につき進む安倍政権にストップを 4/11 H. M

